

研究不正の防止について-研究者倫理向上のための取組例-

【～CITI JAPANプロジェクト～ (H24'～大学間連携共同教育推進事業)】

行動規範教育のカリキュラム構築のために、自然科学系のみならず人文・社会科学系専門家も加えた合意形成の場を設け、国際標準を満たしたe-learning教材の作成と改訂を迅速かつ継続的に行い、全国の大学院教育での活用を促進することにより、グローバルな活躍をするに相応しい行動規範を身につけた研究者を育成する。

<背景>

- 世界： 繰り返される **ミスコンダクト**
- 欧米： **取締りから教育へ** 重点の移行
- 日本： **教育カリキュラムの欠如**

<戦略>

- ・ **大学院・研究機関**での**行動規範教育**
- ・ **国際標準**を満たしUp-dateな教育内容
- ・ **e-learning** による均一教育の全国普及

 米国
CITI Program

- (Collaborative Institutional Training Initiative)
- ・ 全ての研究者に義務付けられている行動規範教育コンテンツを提供
 - ・ ほぼ全ての大学(top 100大学中99大学)・ 研究機関による利用

グローバルな
ミスコンダクトの減少

CITI Japan プロジェクト



連携6大学* + 連携機関 + 協力教員多数

国際標準の教材作成

- ・ 全米教員団体の協力のもとでの教材作成
- ・ 協力教員による妥当性の精査と加筆修正
- ・ 関連事業との連携
- ・ パブリック・コメント
- ・ ユーザーミーティング

広報活動

- ・ 日本医学会
- ・ 全国医学部長病院長会議
- ・ 宇宙航空研究開発機構
- ・ 全国遺伝子医療部門連絡会議等との連携

【教材例】 責任ある研究行為・ミスコンダクト・利益相反・公的研究費の取り扱い・IRBによる審査・個人情報の扱い・オーサーシップ 他

Web運営
窓口サービス
受講認定



利用機関拡大

国際標準とされる行動規範を理解した研究者の全国的育成

共同開発
(国際標準)

※JSTの一部の事業で、採択要件として履修が義務づけられている

信州大学・東京医科歯科大学・福島県立医科大学・北里大学・上智大学・沖縄科学技術大学院大学